**英語ディベートをはじめよう！**

2014

矢野　善郎

ブックレット　目次

[ディベートをはじめよう！ 3](#_Toc389342896)

[1.　ディベートの論題(Proposition) 5](#_Toc389342897)

[2.　ディベートの試合 The Format of HEnDA Debate 6](#_Toc389342898)

[3.　肯定側立論Affirmative Constructive Speech 7](#_Toc389342899)

[4.　否定側立論Negative Constructive Speech 8](#_Toc389342900)

[5.　アタック Attack 9](#_Toc389342901)

[6.　ディフェンス Defense 10](#_Toc389342902)

[7.　総括 Summary 11](#_Toc389342903)

[8.　質疑応答Questions and Answers 12](#_Toc389342904)

[9.　ディベート・スピーチの注意点 Tips on Debate Speeches 13](#_Toc389342905)

[10.　フローの取り方 Flow taking 14](#_Toc389342906)

[11.　ディベートの判定 Judging 15](#_Toc389342907)

[12.　See you in Hamamatsu! 16](#_Toc389342908)

複製の許可：高校生の英語ディベート活動に関わる非営利的な教育目的に限り，このブックレットを著者に断りなく複製することを許可します。

Hello Friends!

このブックレットは，英語ディベートの初心者や，全国大会の形式（HEnDA方式）になじみのない方のための，ちょっとしたディベート入門のつもりです。一校でも多くの学校の高校生が英語ディベートの輪に加わる手助けになれば嬉しいです

矢野　善郎

HEnDA審査委員長

（中央大学教授・日本ディベート協会理事）



全国高校英語ディベート連盟

All Japan **H**igh school **En**glish **D**ebate **A**ssociation

HEnDAの略語って，「ヘンだ」…と思いますか？

ある偉い先生いわく，「なんかヘンだ！」と疑い

反論する，これぞまさにディベートの精神！

HEnDA Make-Friends Pledge

As a member of the HEnDA High School Debate Tournament, I hereby declare that I will strive to develop my integrity as I work with others to inquire into the wisdom and skills of debate. I also pledge to collaborate, in a spirit of fair play, in order to make the tournament a success. Most important of all, I pledge to respect and make friends with fellow members.

INTEGRITY: I will be a humble winner and a good loser. I will make the best use of my experience to pursue higher goals.

INQUIRY: I will always inquire into the wisdom and skills of debate, jointly with other members, never unwilling to share my knowledge with them.

FAIR PLAY: I will pursue the highest standard of fair play, beyond just abiding by the tournament rules.

COLLABORATION: I will always act as a responsible member who actively helps others to make the tournament a great success.

FRIENDSHIP: I accept that the most important goal of this tournament is not to win or lose but to make friends, and always respect other fellow members.

# ディベートをはじめよう！

## ディベート(debate)とは

1. 何かの問題（論題proposition）について，
2. 肯定(Affirmative)・否定(negative)の二つの立場の人が，
3. 判定をする第三者（judge）の前で討論することです。

英語を話す人々，特にアメリカでは，ディベートは日常用語です。新聞に“debate”という言葉が載らない日はありません。

科学論争(scientific debates)

政策論争(policy debates)

経済論争(economic debates)

司法論争(judicial debates)

などなど，すべてディベートなのです。ということは，あなたが将来どんな道に進むにしろ，どこかでディベートに関わることになるといっても大げさではないでしょう。

あなた方の住む未来は，ますますグローバル化した社会となるでしょう。国際語である英語でディベートできるようになることは，世界の様々な国の人たちとあなたをつなぐ必須の技能とも言えるでしょう！

## 英語の四技能が身に付く！

英語ディベートで学ぶのは実際に使える英語能力です。というのも英語の四技能のすべてを，楽しみながら鍛えることになるからです。

Reading（情報のリサーチを通して英文も読む練習になる）

Writing（自分の立場を説得力のある形で作文する練習になる）

Listening（相手が言ったことを聞き取る練習になる）

Speaking（議論を展開し，質問・反論する練習になる）

## 情報メディア・リテラシー

現代の社会は，「情報化社会」と言われています。しかし，逆に言うと，偽物の情報があふれる世の中になっています。

そこで必要なのは，情報メディア・リテラシー！つまり情報にだまされず，情報を使いこなす能力です。英語ディベートを練習することは，単に英語力がつくだけでなく，証拠集めの重要性を学び，自然と情報メディア・リテラシーも身につけられます。

## Debate makes FRIENDS!

ディベートは言い争いや口げんかなので友達を減らす…と勘違いしていませんか？

ディベートは口げんかとは全く逆で冷静に話し合う練習です。ディベートで勝つためには他の人が言っていることを真剣に聞き取る必要があります。ディベートでは，他の人の意見を大事にすることを学ぶのです。

むしろディベートは友達の輪を広げます。ディベートでは，役割分担が重要です。チームワークの大切さも身に付きます。一緒に苦労したチームメートは一生の友達になるでしょう。

そして大会などで全国のライバルと一生懸命に競い合ううちに，ともに同じゴールを目指す者同士，友達の輪が広がるのです。しかも英語は国際語なので，友達の輪は日本にとどまりません！

## 英語ディベートなんて怖くない！

英会話するだけでも難しいのに，英語で討論するなんて，ぜったいに無理…なんて考えていませんか。

確かにディベートには難しい部分もありますが，HEnDA方式のディベートなら，事前に準備しておけるので何も発言できないまま終わるということはないです。むしろ英語で漠然と日常会話をするよりもやさしいかもしれません（外国語で雑談するのは，何が話題になるか分からないから本当は難しい）。

ディベートで学ぶのは，議論をする前に準備することの大切さです。どんな議論でも議論の前に十分に調べて・考えておけば，まったく怖くはありません。準備の大切さがわかっている人は，将来，どこの世界に行っても議論できるはずです。

もっとも本当に行う価値のあるものは，身につけるのに多少の努力は必要です。英語ディベートは，仲間と一緒に，楽しく，実際に役に立つ英語コミュニケーション能力を高めていく活動です。

ディベートの試合は，頭脳を使ったチーム・スポーツの要素もあります。やってみると本当に楽しいし，一生懸命に練習したなら，勝っても負けても，どのスポーツにも負けない感動を覚えることになります。

一度，ディベートの楽しさに気づけば，もっとたくさんの英語の単語やフレーズも覚えたくなるし，英語の文法を学ぶ大切さにも気づきます。　ディベートを通して学ぶ英語は，決して苦痛にはなりません。

# 1.　ディベートの論題(Proposition)

ディベートの試合には，肯定・否定に分かれてチームが対戦しますが，議論するための話題が事前に決まっています。それを「論題」(PropositionまたはDebate topic)と呼びます。

ディベートの論題にはいろいろな種類がありえますが，もっとも議論していていろいろな意味で勉強になるのは，「政策論題」(policy proposition)と呼ばれる，「日本政府は，○○をすべきだ」というタイプの論題です。

HEnDAの大会では，半年以上前に論題を公開し，練習試合，都道府県大会，そして全国大会予選と，同じ論題で何回も試合をすることで，反省点を生かしてステップアップしやすくなっています。

また一つの問題について深く調べるリサーチ能力も鍛えられます。英語だけでなく，社会科の勉強にもなるのです！

## 第8回大会の論題 (Proposition)と定義

|  |
| --- |
| The Japanese government should remove the tariff on rice imports.  日本政府は輸入米の関税を撤廃すべきである。是か、非か。 |

1.　この論題で肯定側・否定側が主張すべき立場

肯定側　日本政府はすべての米品目の関税を撤廃し，関税率を0％まで下げるべきである。

否定側　日本政府はすべての米品目の関税を現行のままの高関税率（2013年4月時点の基本関税778％）のまま維持すべきである。

2.　論題の用語の定義

2.1　「輸入米rice imports」には，籾付き・玄米・精米・調整品などの区別なく，原則として全てのコメ品目が含まれることにします。基本的にどの品目も関税は0%にすることにします。

2.2　「撤廃」される「関税tariff」の関税率は，どの相手国からの輸入であっても，コメの関税率（基本税率）を0%として，特別な暫定税率などももうけないこととします。現実の関税は，貿易協定の有無などによって相手国によって異なった率が定められていますが，このディベートでは，あくまで原則論として「コメの関税をなくすべきか」を議論するのが趣旨となります。TPP加入国だけ，あるいは自由貿易協定を結んだ国にだけ関税を下げるというように，議論の制限をしてはなりません。限定的な撤廃など，中間的な立場を主張することもできません。

2.3　関税撤廃の実施時期・移行の経過措置については，基本的にはディベートの対象としないことにします。

3.　プラン・提言の禁止

このディベートでは，コメ関税を撤廃すべきかだけが議論の焦点となるので，それ以外の政策を変更することの是非は，議論しません。ディベート用語で言えば，コメ関税撤廃だけが，肯定側でゆるされた唯一の「プラン」となります（TPPそのものや，通関制度や検疫制度の改革などは別のディベートですべきことです）。

# 2.　ディベートの試合 The Format of HEnDA Debate

ディベートでは肯定側・否定側になるかは，くじ引きなどで決まります。

HEnDA方式のディベートの試合は，各チームともに，基本的に四人ずつで， 表のような時間配分で

立論Constructive Speech アタックAttack

ディフェンスDefense 総括Summary

の，四つの基本スピーチを各人が担当します。他にも

質疑応答Questions and Answers

が，あります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| スピーチ | '13年大会時間配分 | ※次年から改正 |
| ①肯定　立論Affirmative Constructive Speech | 4分 |  |
| 準備時間Preparation Time | 1分 |  |
| ②否定　質疑Questions from the Negative | 3分 | → 2分 |
| ③否定　立論Negative Constructive Speech | 4分 |  |
| 準備時間Preparation Time | 1分 |  |
| ④肯定　質疑Questions from the Affirmative | 3分 | → 2分 |
| 準備時間Preparation Time | 2分 |  |
| ⑤否定　アタックNegative Attack | 2分 | → 3分 |
| ⑥肯定　質疑Questions from the Affirmative | 2分 |  |
| ⑦肯定　アタックAffirmative Attack | 2分 | → 3分 |
| ⑧否定　質疑Questions from the Negative | 2分 |  |
| 準備時間Preparation Time | 2分 |  |
| ⑨肯定　ディフェンスAffirmative Defense | 2分 | → 3分 |
| ⑩否定　ディフェンスNegative Defense | 2分 | → 3分 |
| 準備時間Preparation Time | 2分 |  |
| ⑪肯定　総括Affirmative Summary | 3分 |  |
| ⑫否定　総括Negative Summary | 3分 |  |
| 計 | 40分 | → 42分 |

※　2014年度大会から，試合時間が幾つかのスピーチで変更になります。

詳しいルールは，連盟ホームページからダウンロードできます。http://henda.jp/

# 3.　肯定側立論Affirmative Constructive Speech

肯定側立論の担当者は，論題がどうして肯定されるべきなのかを論じます。

具体的には，政策論題を実行に移すべきだと論じることになります。そのためには，政策の具体的な計画(plan)を提案し，それが，どのような利点Advantageをもたらすかを証明します。

Plan: 論題に示された政策を，誰が，どのような予算を使って，

どのような手段を使って，いつ，実行に移すかを具体的に提案します。

例えば，

We, the Affirmative side propose the following plan to be adopted.

1) Japanese Government should lower the age of adulthood to 18.

2) All necessary laws should be changed.

3) This plan will be announced publicly through mass-media for 2 years, and it will be carried out from 2010

Advantage: 政策のもたらす利点の証明には三つの要素が必要です。

a) present situation: プランがない状態では望ましくない問題がある

b) effect: プランの効果によって問題が解決する

c) importance: この問題の解決することは，客観的に重要である

例えば，次のように述べることになります。

The plan will bring the following two Advantages

1st Advantage is better policy for the future generation

1. Presently, the youngsters’ votes are neglected. Policies are biased in favor of the elderly people. According to Prof. Z …
2. Effect: the proposed plan will let the younger generation to vote, and the voices of the younger generation will be stronger.  
   We have evidence from Europe. …
3. Importance. Presently, many problems are held off, for the future to solve. For example, in Japan, national debt is increasing day by day. The amount is now more than 700 trillion yen and it will be the burden for the future generation. We must change this biased situation …

※HEnDA方式では，Advantageはルールで二つまで述べてよいことになっています。

# 4.　否定側立論Negative Constructive Speech

否定側立論の担当者は，論題がどうして否定されるべきなのかを論じます。具体的には，政策論題を実行に移すと弊害Disadvantageがあるので，現状のまま(present situation)が良いと論じることになります。

Disadvantage: 弊害の証明にも，三つの要素が必要です。

a) present situation: プランのない現状では問題が起きていない

b) effect: プランの効果によって望ましくない問題が発生する

c) importance: 発生する問題は，客観的に深刻である

例えば，次のように述べることになります。

We, the Negative side support to keep the present situation, as the proposed plan will bring the following two Disadvantages

1st Disadvantage is the risk of tyranny

1. Presently, the youngsters’ votes are limited. According to the X Newspaper, votes from the people aged 20 are only …
2. Effect: the proposed plan will let the young people vote. However the young will cast votes to improper candidates … Prof. W analyzes in 2007 that quote …   
   Improper politicians may finally lead to tyranny …
3. Importance: To protect democracy from falling in to tyranny is most important …

※HEnDA方式では，Disadvantageは二つまで述べてよいことになっています。

否定側は，否定立論と否定アタックとの分業に気をつけましょう。

　立論 Disadvantageがあることを述べる＝悪いことが起きる

（肯定側が立論でださなかった，論題の欠点を述べる）

　アタック Advantageがないことを述べる＝良いことは起きない

（肯定側の立論の証明不足を反論する）

※ときどき，アタックでDisadvantageが述べられたり，立論なのにAdvantageへの反論が述べられたりすることがありますが，これは反則となります。

# 5.　アタック Attack

アタックの担当者は，相手の立論の細部で（microに）反論します。

具体的には，例えば否定側なら，相手の述べたAdvantageの議論がなりたたないと反論したり，弱いAdvantageであると反論します。

否定アタックは，Advantageの三要素それぞれに反論ポイントがあります。

a) present situation の証明に対し，

現状で十分であるPresent situation is enoughという反論

b) effect の証明に対し，

問題を解決しないPlan doesn’t solve the problemという反論

　またはプランの効果は少ないPlan has small effectという反論

c) importanceの証明に対し，

あまり重要でないとThe issue is not importantと反論

肯定アタックも，同様の反論ポイントがあります

a) present situation の証明に対し，

現状でも同様の問題があるThe problem is already presentと反論

b) effect の証明に対し，

問題が生じないPlan doesn’t have link to the problemという反論

　またはプランの効果は少ないPlan has small effectという反論

c) importanceの証明に対し，

あまり重要でないとThe issue is not importantと反論

否定側・肯定側アタックも，各AdvantageやDisadvantageに対し，三つの反論ポイントの複数にアタックすべきです(multiple attack)

もちろん反論にも理由付けが必要です。相手が証拠を出しているなら，証拠が適切でないと攻撃するか，場合によっては反対の証拠も必要となります。

# 6.　ディフェンス Defense

ディフェンスの担当者は，相手チームのアタックから立論を守ります。　相手チームのアタックの反論をよく聞き取り，その反論を上回る再反論をだして議論を守りつつ，議論の重要性を，再度わかりやすくジャッジにアピールします。

よくないディフェンスは，

　相手の反論の一部分だけに，再反論し，全体を立て直していない

　反論するだけで終わってしまい，自分たちの議論の全体像がみえない

例えば肯定側のディフェンスは，Advantageの三要素である。

a) present situation 今のままでは問題が起きてしまうこと

b) effect プランによって問題が効果的に解決すること

c) importance 解決されるのは，重要な問題であること

の三つの論点すべてについて，否定側の相手のアタックに的確に反論し，しかも強調しないといけないのですが，そのうち一つか二つだけしか反論しないようだと，確実にAdvantageがあるという印象をジャッジに残すことはできません。これは否定側についても全く同じです

※　ディフェンスでは，新しく議論を加えたり，いままで述べてこなかったことを付け足したりするのは，「あとだしnew argument」と呼ばれ反則となります。

ただし新しい証拠資料を出すことは，アタックへの反論に必要な限りは，もちろん認められますし，むしろ積極的に行うべきです。

# 7.　総括 Summary

総括の担当者は，試合に出た全ての争点の各論を細かく(microに)要約するともともに，それらを総合するとどのような結論になるのか，試合全体を広い目で（macroに）ジャッジに最後の説得を試みます。

micro: どのようなAdvantageやDisadvantageが最終的に残るのか

macro: AdvantageとDisadvantageとのどちらが大きいのか

これらの二種類の最終アピールをすることが求められています。逆に，よくない総括は，次のようになっている場合です

自分たちのだした議論についてだけしか述べなかったり，

　相手の反論に細かい反論をする(micro)だけで全体像がない

または逆に全体像(macro)だけで細部を無視

総括は三つのステップでまとめるのが基本です

### ①　相手チームの議論をどう評価すべきかを要約(micro)

相手チームが立論で出した議論が，アタックで弱まり，弱い議論となっていることをアピールする要約

②　自分たちのチームの議論をどう評価すべきかを要約(micro)

自分たちが立論で出した議論が，ディフェンスの結果，最終的に強い議論となっていることをアピールする要約

### ③　全体の比較(macro)

相手の議論を最大限に評価しても，どうして自分たちの議論の強さが上回っているということを，理由をつけて述べる。

例えば肯定側なら

（①相手の議論の要約）

First let me summarize about the Disadvantage

They argued on DA1 “Crime will increase” however, we attacked that there is no proof … So DAs are both weak.

（②自分の議論の要約）

On the other hand, we argued and defended the AD1 that …

（③全体の比較）

So, in conclusion, as we have argued, it is more important to think about the future generation, and the ADs are much more important than the weak DAs

You should vote for the affirmative side

※　サマリーでも，新しく議論を加えたり，いままで述べてこなかったことを付け足したりするのは，「あとだしnew argument」と呼ばれ反則となります。最後だけ雄弁なスピーチは高い評価は得られません。

# 8.　質疑応答Questions and Answers

質疑応答は，二つのチームが直接対話する形で進みます。議論がすれちがわないようにするためには，質疑応答は本当に大事です！

質問側は，相手チームが行った立論やアタックについて

聞き取れなかった点を確かめたり，弱点を引き出そうとしたりします。

　質問には，二つのタイプがあります。

1. 確認 confirmation 聞き取れなかった点を確認する質問

・提案・プランの確認（注：多くの場合は，不要）

・何がAdvantage, Disadvantageなのかの確認

・何個，どの論点にアタックしたか（アタック後の場合）

1. 取り調べexamination 議論の弱点を示す質問（高度な質問）

・Advantage/Disadvantageにはeffectの証明があるか？

・証明に証拠evidenceがともなっているか？

・証拠の出典sourceは信頼できるか？

・証拠で参照された専門家に権威authorityはあるか？

・定義の質問（例，How do you define “democracy”?)

単に確認だけでなく，相手の議論の弱点を取り調べすることで，相手の議論が完全でないという印象をジャッジに強く残せます。

質問側は，相手の答えを短くコントロールするような聞き方をして，できるだけ質問数を増やすべきです。

○　Do you have any evidence on … ? Yes/Noでしか答えられない

×　What is your …? 　相手が長々と説明を始める

応答側は，つねに自信を持って，正直に的確に答えながらも，不利にならないように答えることが求められます。

できれば，質問を逆手にとって説明を追加していくべきです。

※　質疑応答では，質問をしている人が，次の質問にいくかどうかを決める権利を持っています。つまり，答えが長すぎたり，逆に答えがなかなかかえってこない時は， “Thank you, but I have another question”などと丁寧にさえぎって次の質問にいくことがルールで許されています。

# 9.　ディベート・スピーチの注意点 Tips on Debate Speeches

ディベートのスピーチをする際には次の4つの点に注意しましょう。

## 1. ジャッジ・観客の方を向く

ディベートは第三者を説得する討論（速すぎては伝わらない！）

相手チームの方を観るのではなく，ジャッジに視線を向ける

（Q/Aの間も，ジャッジの方を観ながら対戦相手とやりとりする）

## 2. 「人称」に注意する

立論・アタック・ディフェンス・総括では，

ジャッジ・観客に向かって，you (二人称)で語りかけます。

相手チームは，三人称で表現する（they, the Negative team，など）

　質疑応答だけは例外

　　質問をぶつける相手チームがyou (二人称)になる

## 3.　主観的な表現「思う・考える」は省略する

　ディベートで問われているのは，

×　あなたがどう考えているか思っているか（主観的な考え）でなく，

　　○　特定の誰かの考えによらない，客観的な真実や，客観的な価値

　×いちいち　“I think …” “We believe…”をつけたり

　　否定する際に“We don’t think so”などをつけたりしてはダメ

スピーチが主観的に聞こえるだけでなく，時間の無駄

　○主張に，証拠つきの理由をつけることで断定していきましょう。

（主張claim） Our plan will reduce crime rate

（証拠evidence）according to Prof. Y, authority on criminology,

Severe punishment will bring deterrence against crime.

Quote … 引用 Unquote.

（理由付けreasoning）Thus Our plan will cause x% decrease in crime rate.

## 4.　ナンバリング（数字付け）をしよう

　自分のスピーチに何個の要素があるかを予告して，

　一つずつ話の切れ目に数字をつけると記憶に残りやすい。

We have 3 attacks

1. on their 1st Advantage: It has no good effect. …

2. also on their 1st AD: It has no importance …

3. …

# 10.　フローの取り方 Flow taking

ディベートを聴く際や，試合をする際には，必ずペンと紙を用意して

フローという手法でメモをとりましょう。

これは，議論の流れ（フローflow）を見やすくするための手法です。

フローでは，次のような用紙を，埋めていきます。

　①各スピーチで述べられたことは，そのスピーチのマス目にメモする。

　②適切に要約してメモをとる（必ず議論のタイトルはメモする）。  
　　　×e = “no evidence” ×I = “not important” など省略形も使う。

　③ある論点への反論や質問は，ちょうど右にくる位置にメモする。

　④証拠evidenceの引用は，四角で囲み目立たせる（重要数字はメモ）。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①肯定  立論 | ②否定  質疑 | ⑤否定  アタック | ⑥肯定  質疑 | ⑨肯定  ディフェンス | ⑪肯定  総括 | ⑫否定側　総括 |
| Plan  AD Younger generation  a) pres. sit.  young ignored  politici focus only old  b) eff  young votes will change  poltics  MUNEI They are interested  Higashinara 90%  c) imp  YOMIURI Necessary significant change | ――――  ――――  Nara?  why all Japan  ―――― | ×e  Only 2% no change  ×I  Consider all age more democratic | ――  ――  ―― | Too much care for elderly  Make big difference  Shamin 3 seats  ―――― | Too much care for elderly  Strong impact  on politics  Imp. to  hear future  generation | Only 2%  ignore all age not democratic |
| ③否定  立論 | ④肯定  質疑 | ⑦肯定  アタック | ⑧否定　質疑 | ⑩否定  ディフェンス |
|  |  |  |  |  |

フローをとることで

・議論にどのような証拠があるかがすぐに分かる

・議論にどのような反論が来たかがすぐに分かる

・反論が来なかった場所（空白）もすぐに分かる

・議論が，最後まで強調されたかがすぐに分かる

※フロー用紙の書式は，前出のHEnDAホームページからダウンロードできます。

# 11.　ディベートの判定 Judging

ディベートの試合は，ジャッジという経験者によって判定されます。

　HEnDA方式の場合，勝ち負けは話の中身だけで決まり，話し方（スタイル）や発音などは勝ち負けに直接影響しません（ただし話し方が速すぎたり，はっきりしない場合は，そもそも議論が伝わらないので，試合の判定に入りません）。

基本的には，論題のAdvantage (AD)と，否定側の述べたDisadvantage (DA)と比較して，最終的にどちらが強い議論であるかを比較して決まります。

ADがDAを上回れば → 肯定側の勝ち

ADがDAを上回らなければ → 否定側の勝ち

チームがどれだけの議論のリレーをつなげられたかが重要です。

英語の発音・スピーチが格好良くても，議論が弱いなら勝てません。

上手な人が一人いても，チームで議論を守れないなら勝てません。

ADやDAの議論の強さを決めるのは二つの要素です。

1. もっともらしさ」(probability)が証明されていること

本当にADがあるか，DAがあるか。細かく言えば，現状present situationにくらべ，どのような効果effectがあるかを見ます

　②「重要性」(importance)が証明されていること

ADやDAとして取り上げられている問題は，本当に重要か

相手のとりあげた問題より重要か，それともそうでないかを見ます

もっともらしさ　×　重要性　＝　AD・DAの強さ

もっともらしいし，問題の重要さも伝わった →　強いAD・DA

もっともらしいが，どうして重要かは分からない →　弱いAD・DA

もっともらしさがないが，問題の重要性は伝わった →　弱いAD・DA

もっともらしさもないし，重要性も分からない →　AD・DAはない

上手なサマリーは，ジャッジにADとDAのどちらが強いかを，理由をつけて比較をします。ジャッジは最終的に

AD2は最後まで強かった。ただAD1もDA2もアタックされて説得力がなくなった。DA1は多少残ったが弱い。

→　ADの方がDAより多いので肯定の勝ちだ

などとADとDAの比較で勝敗の判定をすることになります。

# 12.　See you in Hamamatsu!

　2014年の全国大会は，静岡県浜松市で開催されます。

　Let’s debate and make friends in Shizuoka!

**第9回全国高校生英語ディベート大会in静岡**

**The 9th All Japan High School English Debate Tournament in Shizuoka**

主催 全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)

主管 静岡県高等学校教科研究会

静岡県高等学校英語教育研究会

特別協賛　GTEC for STUDENTS（株式会社 ベネッセコーポレーション）

後援 文部科学省 アメリカ合衆国大使館 全国英語教育研究団体連合会

社団法人全国高等学校文化連盟

静岡県 静岡県教育委員会　浜松市教育委員会　浜松市観光協会

日本ディベート協会　特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟

（以上全て申請予定）

協力 静岡文化芸術大学

期日　　2014年12月13日（土）～ 14日（日）

会場 静岡文化芸術大学　　〒430-8533　静岡県浜松市中区中央2-1-1

論題

|  |
| --- |
| **The Japanese government should abolish nuclear power plants.**  **日本政府は、原子力発電所を廃止すべきである。是か，非か。** |

※　詳細については，連盟HPにて http://henda.jp/